３　事業の実施計画と実施状況

事　　業　　計　　画	実　　施　　状　　況
＜公益１＞県民スポーツ・文化推進事業　　1,032,618 千円（1,071,281 千円）	＜公益１＞県民スポーツ・文化推進事業　997,081,162 円
１　競技力向上　351,279 千円（358,166 千円）	326,495,321 円
（１）鳥取県競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。 245,126 千円（238,695 千円）	228,795,119 円
①ジュニア育成のための競技者育成プログラム活用・実践事業 13,517 千円（13,299 千円） ジュニア指導者講習会を開催することにより、県内指導者への周知を図る。また、カテゴリー別合同練習会を開催することにより、指導者の引き継ぎ・一貫性を充実させ、指導体制の強化を図る。	３５競技　11,857,137 円 （陸上、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、空手道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン）
②ジュニアクラブチーム等の育成・支援事業　4,400 千円（4,400 千円） 特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。	１９競技２２クラブ　4,162,515 円 （水泳２、ボート２、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、ハンドボール、自転車、相撲、フェンシング、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳、カヌー２、空手道、ボウリング、スケート、トライアスロン）
③運動部活動活性化事業　30,865 千円（29,548 千円）	27,177,459 円
・中学生選抜選手育成・強化支援　6,873 千円（7,039 千円） 競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。 ※中体連全専門部に対する事業実施（20 競技）	２０競技　6,872,400 円 （陸上、水泳、サッカー、ホッケー、バレーボール、体操、新体操、バスケットボール、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、剣道、スキー、スケート）
・高等学校運動部指定合宿等支援　7,050 千円（7,080 千円） 各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。 ※Ａ指定：35 部、Ｂ指定：13 部、Ｃ指定：31 部を予定	２６校３１競技７８部　7,049,672 円 Ａ指定：３５部　Ｂ指定：１２部　Ｃ指定：３１部

・高等学校運動部指定特別指導者確保支援　5,414 千円（5,103 千円） 　指定校へ指導者配置の支援を行うことにより、競技力の向上を図る。	２校２競技２名　5,410,711 円 鳥取城北高等学校　相撲　レンツェンドルジ・ガントゥクス 鳥取敬愛高等学校　バドミントン　日野由希江
・高等学校運動部指定外部指導者支援　11,528 千円（10,326 千円） 　各高等学校における指定運動部の外部指導者に対する支援を行うことにより、競技力の向上を図る。	外部指導者支援　１３校３４名　7,844,676 円 （鳥取東、鳥取西２、八頭４、倉吉東、倉吉農業２、倉総産４、鳥取中央５米子南２、境４、境総技４、鳥取敬愛２、倉吉北２、米子北４）
④（新）県外等優秀アスリート受入支援事業　54 千円（0 千円） 　県外高校生推薦入試制度が設けられたので、県外のアスリートが本県の県立高校へ安心して進学できるよう受入体制を整備する。 　※平成 29 年度は準備期間で運営準備会の設置。平成 30 年度から補助制度開始予定。	3,063 円 八頭町、八頭高等関係団体で計５回の運営準備委員会を開催 八頭高ホッケー部に３名の県外優秀アスリートが入学 平成３０年度より八頭町主導で運営推進委員会を設置 （県と町で下宿代相当費を折半）
⑤特別ジュニア選手指定強化事業　49,744 千円（40,957 千円） 　各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。 ※強化区分の見直し（ボウリングが３区分から１区分へ、ボクシングが４区分から２区分へ等） ※チーム鳥取！競技者プログラムの組み入れ ⇒県直営事業から受託事業へ	３１競技　50,547,916 円 （陸上、水泳、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、卓球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、弓道、ライフル射撃、剣道、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、トライアスロン）
⑥指導者の育成事業　4,920 千円（4,920 千円） 　全国トップレベルの指導者の元に派遣、又は国内外の優秀コーチを招へい訪問等行い、県内の指導者の指導力向上を図る。	２０競技　3,786,110 円 （陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、ソフトボール、弓道、ライフル射撃、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、ボウリング、スキー）
⑦大学部指定強化事業　600 千円（600 千円） 　協定により大学運動部を指定し、強化事業を実施する。 ※鳥取大学（ボート部・クライミング部・アイスホッケー部）、鳥取短期大学（ソフトボール部）、鳥取環境大学（陸上競技部）、米子工業高等専門学校（ヨット部）	３校５部　500,000 円 鳥取大学（ボート、山岳、アイスホッケー） 鳥取環境大学（陸上） 米子工業高等専門学校（ヨット）

⑧社会人等選手指定強化事業　26,046 千円（24,959 千円） 各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。 ※強化区分の見直し（ボウリングが３区分から１区分へ、ボクシングが４区分から２区分へ等）	２８競技　25,897,283 円 （陸上、水泳、テニス、ボート、ボクシング、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、卓球、相撲、馬術、フェンシング、弓道、ライフル射撃、剣道、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、スキー、スケート、アイスホッケー、トライアスロン）
⑨成年団体競技強化チーム事業　1,519 千円（1,519 千円） 県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。 ※チアフル鳥取（バドミントン）・米子クラブ（アイスホッケー）へのチーム支援。	２競技２クラブ　1,519,000 円 アイスホッケー（米子アイスホッケークラブ） バドミントン（チアフル鳥取）
⑩優秀選手確保事業　3,223 千円（3,098 千円） 成年期の競技力向上のために、県外の優秀選手を雇用する県内企業等に補助をする。	２社２名　2,124,200 円 バドミントン、アーチェリー各１名 チラシの作成
⑪特別指定競技国体強化事業　22,568 千円（22,572 千円） 競技を指定して、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体等での成績向上を図る。	９競技　21,765,196 円 （サッカー、ホッケー、体操、バスケットボール、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、バドミントン、ラグビーフットボール）
⑫医・科学サポート事業　6,858 千円（7,225 千円） ア　スポーツ医科学講習会等事業　5,426 千円（5,892 千円） 医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実・県内外スポーツ診療関連施設への選手派遣を行い、マルチサポート体制の充実を図る。 ※県内外医療施設受診、乳酸測定器消耗品の購入、動作解析等先進地の視察、栄養サポート講習会、指導者クリニック等	5,238,768 円 4,126,499 円 ・２６競技 （陸上、水泳、サッカー、ボート、ホッケー、ボクシング、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、軟式野球、相撲、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、ボウリング、スキー） ・トレーナー養成講習会 年３回の養成講習会を開催　延べ 56 名参加 ・チームドクター派遣（年２４回） 鳥取中央育英高校陸上部へスポーツドクターを派遣 ・スポーツ医科学センター受診 横浜ｽﾎﾟｰﾂ医科学ｾﾝﾀｰにてｱｽﾘｰﾄﾁｪｯｸｻｰﾋﾞｽを受診　延べ 12 名派遣

	・ブラッシュアップ指導者研修会 日　時　　平成 30 年 2 月 12 日（月・祝） 場　所　　コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場 講　師　　山崎一彦氏（日本陸連　強化副委員長） 参加者　　35 名（競技指導者） ・スポーツ選手のためのアンチ・ドーピング＆スポーツ栄養講習会 日　時　　平成 30 年 3 月 4 日（日） 場　所　　倉吉体育文化会館 講　師　　徳吉雄三氏（スポーツファーマシスト） 山田恭子氏（スポーツ栄養士） 参加者　　22 名（選手・指導者・保護者）
イ　メンタルサポート事業（toto 補助事業）1,432 千円（1,333 千円） 高等教育機関と連携し、メンタル面のサポートが必要な競技を対象としたメンタルトレーニングを実施する。	1,112,269 円 講習会５回開催、試合測定３回実施 米子工業高校弓道部 13 名、日野高校ライフル射撃部 5 名を対象
⑬国体等強化備品整備　38,720 千円（42,880 千円） 国体等強化備品の整備を行う。 ※ライフル射撃ビームピストル機器一式･ライフル射撃ターゲット装置一式・ボートシングルスカル女子用・ボートダブルスカル女子用・ボートシングルスカル男子用・ボートダブルスカル男子用・ボート舵手付クオドルプル艇女子用･ボート舵手付クオドルプル艇男子用・カヌーパドリングマシンコンビ・カヌーワイルドウォーターカヤックシングル艇・カヌースラロームカヤックシングル艇・水泳ダイビングボード・山岳エバーマット・ホッケーゴールキーパー用防具・トライアスロンバイク一式・トライアスロンバイクホイール・セーリング４２０級ヨット・バドミントンコートマット・自転車トラックレーサー完成車（アンカー中距離用）・自転車トラックレーサー（サーベル中距離用）・自転車練習用ローラー台・自転車電動バイク	１０競技　38,177,407 円 （水泳、ボート、ホッケー、セーリング、自転車、バドミントン、ライフル射撃、山岳、カヌー、トライアスロン）

⑭強化練習用消耗品等対策事業　16,513 千円（18,064 千円） 国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。	１１競技　16,485,759 円 （水泳、ボート、体操、セーリング、自転車、馬術、山岳、カヌー、クレー射撃、スキー、スケート）
⑮安全管理対策事業　1,819 千円（1,799 千円） 国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。	３６競技　1,591,171 円
⑯公認指導者資格取得・更新補助事業　563 千円（563 千円） 国民体育大会の監督資格要件として必要な日本体育協会公認指導者資格の取得及び更新に係る経費の 1/2 補助を実施する。	３競技　37,400 円 （ボート、山岳、なぎなた）
⑰強化推進事業　21,681 千円（20,776 千円） ・強化推進事業費（事務費）　1,041 千円（1,110 千円） 競技団体との連絡・調整・指導等 ・競技力向上担当人件費　20,640 千円（19,666 千円） 競技力向上対策事業を受託執行するための３名の人件費	17,084,121 円 1,084,121 円 各種委員会の開催、競技団体との意見交換会等に係る経費、その他事務費 16,000,000 円 ３名配置
⑱わかとり国体開催記念スポーツ振興事業　1,516 千円（1,516 千円） 【募集関係】 ア　情報収集活動事業 国体で入賞が期待される競技の指導者等を各種大会等へ派遣し、全国の競技力等の調査・分析を行うための経費を助成する。 イ　強化用消耗品・備品等整備事業 県の競技力向上対策事業費で措置されていない消耗品及び備品購入のための経費を競技団体に助成する。 【激励関係】 ウ　オリンピック等出場選手激励事業 本県選手・本県出場選手に対し、激励金を交付する。 エ　国民体育大会入賞奨励金支給事業 国民体育大会において入賞した競技（種別）に対し報奨金を支給する。	840,614 円 ２競技４事業 （自転車、バドミントン） １競技 （スケート） 平昌五輪出場者なし 15 競技 51 種目入賞 （冬季大会は入賞なし）

【その他】 オ　強化推進費 　鳥取県体育協会が競技力向上を推進していくために必要となる経費を助成する。	競技団体への激励品等
（２）国体予選会の開催及び国体等の選手団派遣を行う。 87,854 千円（102,210 千円）	80,511,602 円
①国体予選会の開催　2,758 千円（2,813 千円） 国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。	2,669,490 円 国体選手選考のための県予選会を競技団体へ委託　40 競技
②中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣 29,036 千円（30,140 千円） 主に広島県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及び西日本（予選）で開催予定の全国予選会へ選手団を派遣する。 期　　日　平成２９年５月～１２月 会　　場　広島県内の各会場等 競技種目　水泳（水球）他３５競技	31,994,584 円 ・国民体育大会中国ブロック大会 期　　日　平成 29 年 5 月 20 日（土）～8 月 27 日（日）32 競技 冬　　季　平成 29 年 12 月 9 日（土）～12 月 10 日（日）1 競技 会　　場　広島県内の各会場　等 競技種目　水泳（水球）他 32 競技 779 名派遣 ・フィギュアスケート競技全国予選会 期　　日　平成 29 年 12 月 2 日（土）～12 月 3 日（日）1 競技 会　　場　アクアリンクちば（千葉県）9 名派遣
③第７２回本国体及び第７３回冬季大会への選手団派遣 53,860 千円（67,057 千円） ・愛媛県で開催される国民体育大会（会期前・本大会）、新潟県等で開催される冬季大会に選手団を派遣する。 （本大会及び会期前） 期　　日　平成２９年９月３０日～１０月１０日 （会期前実施競技は平成２９年９月９日～９月１７日） 競技種目　陸上競技他３６競技 ・第７３回冬季大会に選手団を派遣する （スキー競技） 期　　日　平成３０年２月２５日～２月２８日 場　　所　新潟県 （スケート競技） 期　　日　平成３０年１月２８日～２月１日	43,881,910 円 ・愛媛県を中心に開催された本大会に選手団を派遣 （会期前大会） 期　日　平成 29 年 9 月 9 日～9 月 17 日 競技種目　水泳、カヌー、弓道　3 競技 37 名派遣 （本国体） 期　日　平成 29 年 9 月 30 日～10 月 10 日 競技種目　陸上競技　他 36 競技 335 名派遣 ・山梨県等で開催された冬季大会へ選手団を派遣 （冬季大会　スケート競技） 期　日　平成 30 年 1 月 28 日～2 月 1 日 場　所　山梨県 競技種目　スケート競技　1 競技 7 名派遣 （冬季大会　スキー競技） 期　日　平成 30 年 2 月 25 日～2 月 28 日

場　　所　新潟県 （アイスホッケー競技） 期　　日　平成３０年１月２８日～２月１日 場　　所　神奈川県	場　所　新潟県 競技種目　スキー競技　1 競技 38 名派遣 ※競技得点　351.5 点（天皇杯順位 42 位　皇后杯順位 30 位）
④国体等派遣選手指導費（旧競技スポーツ推進費） 2,200 千円（2,200 千円） 県内外の各種大会や強化事業に出向き、競技団体との情報交換、戦力分析や競技力向上のための情報収集活動を行う。	1,965,618 円 情報収集活動等に伴う旅費交通費、燃料費
（３）競技力向上のための指導者確保事業　11,200 千円（11,485 千円） 鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。 ※ホッケー競技・セーリング競技	11,332,933 円 体育指導員 2 名 （ホッケー、セーリング）
（４）ＪＯＣ競技別強化拠点（セーリング）整備等事業 チャーター艇の整備・コーチングスタッフの確保 5,899 千円（5,549 千円） ＪＯＣ競技別強化センターとして認定を受けた境港公共マリーナにおける競技力向上のための機能や利便性の向上を図るために必要な整備を行う。	4,916,685 円 体育指導員（コーチングスタッフ）1 名配置
（５）アンチ・ドーピング教育・啓発事業（日体協委託事業） 200 千円（227 千円） ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。 ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。	144,396 円 ドーピング講習会の開催 平成２９年８月３１日　とりぎん文化会館（会期前国体結団式後） 平成２９年９月２２日　鳥取県民体育館（本国体結団式後）
（６）賛助会費事業　1,000 千円（0 千円） ①ジュニア期の一貫指導・育成支援事業　　400 千円 全国での入賞実績のない高校運動部を指定し、全国レベル到達を目的に支援を行う。 ②トップアスリート支援事業　　200 千円 大学に進学したトップアスリートに競技を継続してもらうため、支援を	794,586 円 342,376 円 高校運動部指定　11 校 17 部 303,888 円 体協表彰時６名に贈呈

行う。 ③医科学サポート事業　　50 千円 スポーツ栄養士を派遣し、スポーツ選手の体質改善等を図る。	10,000 円 スポーツ栄養講習会 日　時　平成 30 年 2 月 20 日（火） 場　所　倉吉総合産業高校 講　師　山田恭子氏（スポーツ栄養士） 参加者　指導者・選手・保護者　約 120 名
④総合型地域スポーツクラブ育成支援事業　150 千円	132,322 円
・トップアスリート招聘　　100 千円 総合型地域スポーツクラブがトップアスリートを招聘して組織の運営基盤強化や会員の資質向上を図る。	101,404 円 補助対象者　　ＮＰＯ法人かほくスポーツクラブ 事業実施日　　平成 29 年 12 月 10 日（三朝スポーツセンター） 事業内容　　元全日本コーチやワールドカップ出場経験者を招聘し、バレーボール教室を実施した。
・指導者招聘　　50 千円 総合型地域スポーツクラブが指導者を招聘しいて教室開催等をすることにより、会員確保やクラブ活性化を図る。	30,918 円 補助対象者 １　スポーツしょい大山（バドミントン教室の開催） ２　青谷スポーツクラブ（トランポ・ロビックスの指導） ３　ＮＰＯ法人ウルトラスポーツクラブ（サッカー教室の開催）
（新）⑤賛助会員体育施設利用券の発行　　200 千円 鳥取県体育協会が管理する指定管理及び所有する施設の利用券を交付する。	6,000 円 発行枚数：３２５枚（団体８２件２７９枚、個人１５件４６枚） 利用枚数：６枚（布勢５枚、皆生１枚）

事　　業　　計　　画	実　　施　　状　　況
2　生涯スポーツ推進　43,113 千円（32,357 千円）	35,889,980 円
（１）（新）広域スポーツセンター事業　26,051 千円（15,803 千円）	19,914,976 円
①（変）スポーツ好きな子どもを育むスポーツ体験事業（旧：目指せトップアスリート！！わかとりっこ育成事業）　2,773 千円（1,643 千円） 複数種目によるスポーツ体験イベントの開催やスポーツアスリート派遣を定期的に行い、子ども達のスポーツへの興味・関心を広げることで、県内のスポーツ人口の拡大・ジュニア育成を図る。 ※平成２８年度は競技力向上対策事業であったが、県の事業の見直しに伴い、競技の普及要素が高い本事業を生涯スポーツのカテゴリーで事業化することとなったもの。	2,462,042 円 とっとり Jr. スポーツフェス 2017 日　時　平成２９年４月９日（日）12：00～16：00 場　所　鳥取県民体育館 講　師　山本隆弘氏（バレーボール）、平野早矢香氏（卓球） 岡野雅行氏（サッカー）、大山妙子氏（バスケットボール） 参加者　１４５名（小学生）
②（新）総合型地域スポーツクラブ運営改善事業　650 千円（0 千円） 総合型地域スポーツクラブが抱える問題を解消するため、クラブ創設・運営に関する指導者を派遣し、運営改善を図る。	354,560 円 【研修会】 日　時　平成２９年９月２日(土) 場　所　倉吉体育文化会館 講　師　榎敏弘 氏(地域スポーツシステム研究所所長(石川県)) 内　容　総合型地域スポーツクラブの課題を考える講演とワークショップ 参加者　１６名 【指導者派遣】 期　日　平成２９年１２月１８日、平成３０年１月２８日 場　所　鳥取市鹿野町、日野郡日南町 対　象　県内の総合型地域スポーツクラブ及び設立準備中クラブ ・鹿の助スポーツクラブ ・にちなんスポーツクラブ 内　容　講師による、クラブ運営役員からのヒアリング及び運営等に関する指導
③（新）クラブマネジャー研修事業　250 千円（0 千円） 総合型地域スポーツクラブ、市町村教育委員会、スポーツ推進委員を対象としたクラブ運営に関する研修またはクラブマネジャー資格取得講習会を行う。	185,138 円 日　時　平成２９年１２月３日(日)10:00～15:00 場　所　倉吉未来中心 講　師　東京在住の講師(横原義人 氏、谷塚哲 氏) 内　容　クラブの多様性と運営、クラブの法人格取得に関し学ぶ講座

④（新）鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業 771 千円（0 千円） 　県内スポーツ施設、スポーツイベント、鳥取へのアクセスマップ及び宿泊施設等の情報に加え、各種支援制度をまとめた専用サイトを運用する。	770,256 円 スポーツ施設、スポーツイベント、宿泊施設等の情報を掲載。
⑤第１８回県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業 7,701 千円（7,878 千円） 　広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。 ・夏季大会　３種目 期　　日　平成２９年８月２６日～２７日 会　　場　中部地区中心に全県で開催 ・秋季大会　３１種目 期　　日　平成２９年１０月２１日～２２日 会　　場　中部地区中心に全県で開催 ・冬季大会　４種目 期　　日　平成３０年２月１１日 会　　場　中部地区中心に全県で開催	6,761,748 円 夏季大会　３種目 期　　日　平成２９年８月２６日～２７日 会　　場　鳥取県営東山水泳場、　他２会場 参加人数　１，１００名（前年度１，０９４名） 秋季大会　３３種目 期　　日　平成２９年１０月２１日～２２日 会　　場　中部地区を中心に開催 参加人数　６，０７７名（前年度２，５０４名） ※台風 21 号の発生により８競技を中止 冬季大会　４種目 期　　日　平成３０年２月１１日 会　　場　若桜氷ノ山スキー場　他３会場 参加人数　　６１８名（前年度２９７名）
⑥大韓民国江原道とのスポーツ交流事業　6,611 千円（6,282 千円） 　本県体育協会と江原道体育会との協定（2001 年 11 月 6 日協定）に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。 　２９年度は鳥取市で江原道選手団を受け入れる。 ・スポーツ交流大会　３競技（ソフトテニス（少年男女）、フェンシング（少年男女）、卓球（男女）） 期　　日　平成２９年１２月８日～１２月１２日（予定） 参 加 者　３競技の監督、選手、体協役員等	5,497,282 円 期　　日　平成２９年１２月８日～１２月１２日 参 加 者　３競技の監督、選手、体協役員等 卓　　球　　選手、監督等（成年男女）１６名（鳥取県１７名） フェンシング選手、監督等（少年男女）１１名（鳥取県１３名） ソフトテニス選手、監督等（少年男女）１３名（鳥取県１３名） 会　　場　卓　　球　鳥取産業体育館 フェンシング　　〃 ソフトテニス　鳥取市民体育館
⑦（新）広域スポーツセンター人件費　　7,295 千円（0 千円） 広域スポーツセンターの事業を受託執行するための１名分の人件費。	3,883,950 円 １名配置

（２）体協表彰事業　　2,000 千円（1,915 千円） 　スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。 期　　日　平成３０年２月下旬 場　　所　未定 表彰内訳 体育功労章　　若干名 優良団体賞　　数団体 優秀指導者賞　　若干名 特別賞　　国際大会出場者等 スポーツ賞　　全国大会等上位入賞 スポーツ敢闘賞　　全国大会等下位入賞 スポーツ奨励賞　　全国規模大会入賞者	1,703,642 円 期　日　平成３０年２月１８日（日） 場　所　白兎会館　飛翔の間 表彰内訳　体育功労章　　５名（３） 優良団体賞　　２団体（２） 優秀指導者賞　　２名(３) 特別賞　　５名(１２) スポーツ賞　　個人４８名（３７）　団体１４チーム（１９） スポーツ敢闘賞　　個人４７名（３７）　団体１２チーム（１１） スポーツ奨励賞　　個人４５名（２９）　団体３チーム（６） 表彰式後に開催された大会等で優秀な選手を追加表彰した。 スポーツ賞　　個人２名 スポーツ敢闘賞　　個人３名 計　　団体３１チーム（３８） 個人１５７名（１２１） ※（　　）は前年度の表彰数
（３）公認スポーツ指導者事業　1,573 千円（1,500 千円） ①公認スポーツ指導者養成講習会の開催（日体協委託事業） 1,106 千円（838 千円） ・指導員養成講習会　　２競技（弓道競技、ハンドボール競技　予定）	1,549,313 円 公認スポーツ指導者養成講習会の開催　1,213,390 円 ・弓道競技 参加申込者２４名（平成 29 年 7 月 23 日～12 月 24 日の 8 日間で実施） ・ハンドボール競技 参加申込者１５名（平成 29 年 7 月 15 日～8 月 8 日の 6 日間で実施）
②公認スポーツ指導者研修会の開催（日体協委託事業） 467 千円（662 千円） ・スポーツ指導者研修会の開催　年２回	335,923 円 第 1 回　平成 29 年 9 月 3 日（日）夢みなとタワー（参加者数:72 名） 第 2 回　平成 29 年 11 月 12 日（日）とりぎん文化会館（参加者数:119 名）
（４）総合型地域スポーツクラブ育成支援事業　　60 千円（60 千円） ・未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動 ・育成指定クラブ連絡協議会等への活動旅費	60,000 円 連絡協議会の開催 第１回　平成２９年６月１０日　場所：倉吉体育文化会館　参加者１６名 第２回　平成３０年３月１０日　場所：倉吉体育文化会館　参加者１８名

・東中西各地区交流会への活動旅費	東・中・西部各地区交流会の開催 東部　平成２９年１０月１５日 場所：智頭中学校体育館　参加者１００名 中部　平成２９年７月３０日　場所：倉吉市関金町大山池　参加者　３５名 西部　平成２９年６月１５日　場所：境港市民第１体育館　参加者１５０名
（５）スポーツ少年団の育成（日体協助成事業等）　2,992 千円（2,299 千円） ・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会の開催　年１回 ・シニアリーダースクール・全国少年大会への派遣 ・組織整備強化事業の実施	2,762,500 円 スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会 期　日　平成２９年１１月２５日～２６日 場　所　コカ・コーラウエストスポーツパーク鳥取県民体育館会議室 シニアリーダースクール派遣　申込みなく派遣なし 全国少年大会への派遣（指導員１人、団員４人）
（６）スポーツ安全保険業務　4,501 千円（4,448 千円） 公益財団法人スポーツ安全協会鳥取県支部と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。	4,501,000 円 アマチュアスポーツ・文化・ボランティア・地域・指導活動を行う４名以上の社会教育関係団体に対し団体活動中の事故及び通常経路往復中の事故の補償を行う保険の加入受け付け業務を行った。また、スポーツ安全保険の広報活動を行った。
（７）施設基金実施事業　5,936 千円（6,332 千円） ①因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業　341 千円（341 千円） 兵庫県但馬地区と鳥取県因幡地区の小学生･中学生による陸上競技の交流を目的とした対抗選手権大会の開催経費補助。	5,398,549 円 339,603 円 期　日　平成２９年８月１１日（金・祝） 会　場　コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場 参加者　選手２１９名（因幡１０２名、但馬１１７名）
②サッカースクール　562 千円（859 千円） 布勢総合運動公園において、元Ｊリーグ監督等を講師として、小学生を対象としたサッカー教室及びミニゲームを開催。 ・参加者：小学生１００名	510,198 円 期　日　平成２９年４月１日（土） 場　所　コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場 講　師　都並敏史　氏（元ヴェルディ川崎選手、元日本代表）他４名 参加者　９９名
③ガイナーレ鳥取支援事業　301 千円（301 千円） ガイナーレ鳥取に対し、県体協としても可能な支援を行い、本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。	300,308 円 クラブスポンサーとして支援

④布勢スプリント開催事業　601 千円（601 千円） 　布勢総合運動公園において開催される「布勢リレーカーニバル兼スプリント挑戦記録会ＩＮ　ＴＯＴＴＯＲＩ」に各種目のトップアスリートを招待することにより、子どもたちに夢や感動を提供することに寄与する。 ・招待選手：調整中	600,648 円 期　日　平成２９年６月４日 場　所　コカ・コーラウエストスポーツパーク陸上競技場 主な招待選手　■男子 100m　山縣亮太、藤光謙司、大瀬戸一馬 ■男子 110mH　矢澤　航、大室秀樹、高山峻野 ■女子 100m　福島千里、世古　和、松田優美 ■女子 100mH　木村文子、紫村仁美、相馬絵里子 参加者　７４２名
⑤野球教室開催事業　1,599 千円（1,599 千円） 　布勢総合運動公園において、元プロ野球選手及び一流の指導者を講師として、中学生を対象とした野球教室を開催。	1,459,176 円 期　日　平成２９年１１月１２日（日） 場　所　コカ・コーラウエストスポーツパーク野球場 講　師　赤星憲広　氏（元阪神タイガース）他２名
⑥鳥取県体育協会史編集事業　2,000 千円（2,000 千円） 　鳥取県体育協会の歴史を後世に残していくため、鳥取県体育協会史の発刊を行う。 ・発刊：平成３１年度を予定	1,900,219 円 編集委員会 第３回編集委員会　平成２９年５月２９日 第４回編集委員会　平成２９年８月３１日
⑦備品整備事業　281 千円（631 千円） 　県民スポーツ･文化推進事業を円滑に行えるよう、備品の整備を行う。 ・公用車（軽自動車）の維持・修繕等	114,254 円 公用車の法定点検等整備
⑧**（新）**2020 東京オリパラ・世界選手合宿誘致事業　251 千円（0 千円） 　鳥取市東京オリ・パラキャンプ実施委員会への負担金	174,143 円 鳥取市東京オリ・パラキャンプ実施委員会に対し、総額の１/６を負担。 ・卓球ホープスナショナルチーム合宿（６月１９日～２３日）

指定管理施設　運営状況一覧

平成３０年３月３１日現在

	公益事業					収益事業	合計
	鳥取県立 布勢総合運動公園	鳥取県立 鳥取産業体育館 鳥取県営 鳥取屋内プール	米子市 皆生市民プール	鳥取県立 米子産業体育館	鳥取県立武道館	鳥取県立 倉吉体育文化会館	
利用人数	1,139,000人	82,000人 67,000人	86,000人	148,000人	110,000人	172,000人	1,804,000人
（計画）	(1,139,000人)	(81,500人) (67,000人)	(85,000人)	(146,000人)	(110,000人)	(184,000人)	(1,812,500人)
利用人数	1,098,968人	98,656人 70,925人	86,361人	136,143人	105,807人	157,668人	1,754,528人
（実績）	(1,075,770人)	(91,393人) (68,395人)	(84,464人)	(143,650人)	(112,236人)	(162,938人)	(1,738,846人)
利用収入等金額	66,712,000円	34,570,000円	22,865,000円	31,810,000円	12,474,000円	18,080,000円	186,511,000円
（計画）	(59,072,000円)	(34,270,000円)	(21,895,000円)	(31,490,000円)	(12,474,000円)	(19,110,000円)	(178,311,000円)
利用収入等金額	83,567,129円	35,043,940円	18,969,900円	30,225,901円	12,135,722円	19,025,794円	198,968,386円
（実績）	(76,576,067円)	(31,903,671円)	(19,385,435円)	(29,701,632円)	(13,014,801円)	(19,561,055円)	(190,142,661円)
県委託料	274,390,181円	63,418,848円	－	30,055,264円	64,202,000円	45,056,224円	477,122,517円
（予算）	(273,806,000円)	(61,526,000円)	－	(30,775,264円)	(65,889,000円)	(43,850,160円)	(475,846,424円)
県委託料	262,783,567円	63,418,848円	－	30,055,264円	62,575,841円	45,056,224円	463,889,744円
（実績）	(262,589,778円)	(61,526,000円)	－	(30,775,264円)	(65,381,174円)	(43,850,160円)	(464,122,376円)
米子市委託料	－	－	45,413,000円	－	－	－	45,413,000円
（予算）	－	－	(45,788,000円)	－	－	－	(45,788,000円)
米子市委託料	－	－	45,413,000円	－	－	－	45,413,000円
（実績）	－	－	(45,788,000円)	－	－	－	(45,788,000円)
スポーツ（文化）教室	【陸上】 陸上教室Ⅰ他9教室 【体育館】 卓球初級教室 他22教室	【体育館】 バドミントン教室 他15教室 【プール】 幼児教室他19教室	【スポーツ教室】 バドミントン教室 他6教室 【水泳教室】 4教室(30クラス)	【スポーツ教室】 体操教室他16教室 【文化教室】 英語教室 【短期教室】 バドミントン教室 他3教室	柔道教室 剣道教室 弓道教室 ゆったり運動教室 他7教室	【スポーツ教室】 テニス教室他11教室 【文化教室】 グラスシルエット教室 他7教室	
ｲﾍﾞﾝﾄ	・グラウンドゴルフ大会 ・ピンポン大会 ・サッカー大会 ・緑の感謝祭 他23ｲﾍﾞﾝﾄ	・ジュニアスポーツ体験 ・バドミントン大会 ・花ショウブ展示会 ・アート展 他7ｲﾍﾞﾝﾄ	・浮いて待て講習会 他4イベント	・バウンドテニス大会 ・バドミントン大会 ・新体操教室発表会	・武道合同体験会 ・高校生弓道大会 ・小学生剣道大会 ・武道館鏡開き式 他9ｲﾍﾞﾝﾄ	・体文祭 ・テニスカップ ・夏休み文化教室 ・ｸﾘｽﾏｽｲﾍﾞﾝﾄ 他5ｲﾍﾞﾝﾄ	

※カッコ内はH28年度

事　　業　　計　　画	実　　施　　状　　況
３　体育施設管理・運営　６３８，２２６千円（６２９，８７８千円） （１）鳥取県立布勢総合運動公園 年間施設利用見込み人数　　１，１３９，０００人 年間収入見込額　　６６，７１２千円	体育施設管理・運営　６３４，６９５，８６１円 平成２９年度施設利用者数　　１，０９８，９６８人 （平成２８年度実績）　　（１，０７５，７７０人） 平成２９年度収入額　　８３，５６７，１２９円 （平成２８年度実績）　　（７６，５７６，０６７円） ■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
卓球初級	４月～２月	３０	７３６	
卓球中級	４月～３月	３０	９９６	
卓球上級	４月～２月	３０	５０６	
トータルバランスヨガ午前	４月～３月	３０	８２４	
シェイプアップエアロ	４月～２月	３０	３３２	
ノルディックウォーキング	４月～６月	１０	１３９	
エアロビクス＆ストレッチ	４月～３月	３０	７６７	
健康トレーニング	４月～３月	３０	２０９	
ニュースポーツ	４月～３月	３０	１８８	
ママ＆ベビーのヨガリズム	４月～７月	１０	７６	
トータルバランスヨガ午後	４月～２月	３０	５０９	
バドミントン	４月～３月	３０	２５９	
野球Ⅱ	４月～１２月	３０	５４８	
エンジョイ・キッズ	４月～３月	３０	４７３	
陸上Ⅰ	４月～１２月	３０	８８７	
野球Ⅰ	４月～１２月	３０	４９８	
チアバトンダンス	４月～１月	３０	７５２	
トランポ・ロビックスジュニア	４月～１月	３０	３７５	
陸上Ⅱ	４月～１２月	３０	９４０	
サッカーⅠ	４月～２月	３０	５７５	
サッカーⅡ	４月～２月	３０	４９５	
バドミントンジュニア	１０月～２月	３０	７０５	

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
陸上上級	４月～３月	９０	３，１９３	
ピラティス	４月～１月	３０	６７９	
癒しのヒーリングヨガ	４月～１月	３０	６０４	
フラダンス	４月～３月	３０	２４３	
ジョギング	４月～１１月	３０	４３８	
障がい者トランポリン	４月～１月	１０	３８	
障がい者スポーツ	４月～１月	１５	７０	
ファンクショナルトレーニング午前	４月～３月	６０	１８２	
ファンクショナルトレーニング午後	４月～３月	６０	２６６	
テニス	４月～３月	２０５	７，２４０	
ランニングクリニック	１２月～３月	１５	３２９	

■イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
	布勢グラウンドゴルフ男女別個人戦	2	５７３	
	園長杯争奪グラウンドゴルフ大会	5	１，７０２	
	布勢ＧＧショートコースラウンド	1	２８４	
	さよならＧＧ大会 in 布勢	1	２１９	
	布勢剣道練成大会	1	１０９	
	クライミング体験教室	2	２２	
	布勢フレッシュ・グラスグラウンドゴルフ大会	1	３２５	
	ピンポン大会	3	１５５	
	ナイター記録会陸上競技大会	1	１２１	
	ナイターグラウンドゴルフミックスペア大会	1	１３２	
	ナイターグラウンドゴルフ大会	1	１７７	
	布勢ナイターサッカー大会	1	３６０	
	布勢親子ダブルス卓球大会	1	８４	
	布勢ミックスダブルス卓球大会	1	１６６	

	布勢サッカー大会	1	９８７	
	肩こり・腰痛・膝痛解消改善教室	1	１２０	
	コーディネーション&スプリント講座	2	７３	
自然体験	カブトムシ観察ウォーク	1	４３	
	布勢の味覚発見　キノコ狩り	1	２０	
地域交流	第１０回緑の感謝祭	1	６，０００	
	布勢フリーマーケット	2	７９	
	布勢子ども祭り（春）	1	４，４００	３日間
	布勢子ども祭り（秋）	1	１，０００	３日間

■体験学習プログラム

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
環境	堆肥の無料配布	3	―	
自然遊び	ハンターハンター	1	８７	
園芸	クリスマス寄せ植え教室	1	２３	
福祉	トレーニング体験（養護学校）	2	１７	

■利用人数及び収入増減理由

人数：今年度はイベント参加者数と一般利用者数が昨年度に比べ増えているため全体で利用者数が増となっている。

収入：大相撲鳥取場所やバスケットWリーグなど、営利料金での体育館利用等が要因となり収入増となった。

■事業実施状況

・職場体験については、例年受け入れしている高草中、湖東中、新たに湖南学園、湖陵高校を受入れた。

・スポーツ教室では、参加者からの声が多かった卓球教室について、前年度の２教室から初級、中級、上級と区分を３教室にして、参加者のニーズに応えた。

・イベントでは、布勢剣道練成大会、肩こり・腰痛・膝痛解消改善教室を新たに開催し、さらに、スポーツだけでなく自然を楽しむ「カブトムシ観察ウォーク」「布勢の味覚発見、キノコ狩り＆観察会」、園芸プログラムとして「クリスマス寄せ植え教室」等多彩なイベントを開催し公園の利用促進に努めた。

	・障がい者スポーツの振興、支援・協力として、日本パラ陸上競技選手権大会、鳥取さわやか車いす&湖山池マラソン大会の運営に協力・支援をした。 ・鳥取県手をつなぐスポーツ祭りの運動指導、全国障害者スポーツ大会と強化練習会への強化コーチ派遣を行った。 ・鳥取県、鳥取市及び県卓球連盟と連携し、卓球の男子全日本ホープス（小学生）ナショナルチームによる合宿を誘致し、運営に協力した。 ・ジカ熱・デング熱対策として、園内全ての屋外トイレに虫除け装置を設置した。 ・鳥取県、鳥取市及び鳥取陸上競技協会と連携し、ジャマイカチームの合宿誘致に向けて協力した。 ・鳥取県や関係団体と連携し、２０２０オリンピック、パラリンピックキャンプ誘致のための視察対応に協力した。 ・公園内で発生する芝生の刈芝、雑草や剪定で出た木屑や葉っぱで堆肥・腐葉土を作り、希望者に配布した。 ・大相撲鳥取場所の運営に協力した。 ■今後の取り組み等 ・ワールドカデットチャレンジ大会２０１８の開催に向けた準備等に協力する。 ・安全安心な施設であるため、職員のスキルアップのための研修会を開催する。 また、他団体が実施する各種研修会に積極的に参加する。 ・収入増を図るため、追加イベントを計画し実施する。 ・教室（特にテニス教室）の参加者増を図るため、広報に力を入れる。 ・全国、国際大会等の誘致を促進するため、県や各団体と連携を密にしていく。 ・オリンピックや世界大会等のための合宿地誘致に鳥取県や関係団体と協力していく。 ・鳥取県や関係団体と連携しジャマイカ陸上選手にまつわる展示、記録映像等の上映を引き続き行う。 ・鳥取県の施策の一つである、日本財団の障がい者支援の取り組みやスポーツ医科学センター構想について、協力するよう務める。 ・体育館ロビーを有効活用し、国体関連や相撲関連等の展示を行っていく。 ・子ども達がオリンピアンや有名選手に触れ合えるイベントを開催していく。 ・照明器具をＬＥＤに更新し、省エネ活動の推進、経費の削減をしていく。 ・施設の美化活動を強化する。

・県と連携し、公園内の施設改修やバリアフリー化・機能強化に努める。
・優秀な人材を生かした事業の充実（スポーツ教室、イベント等）を図る。

（２）鳥取県立鳥取産業体育館・鳥取県営鳥取屋内プール

年間施設利用見込み人数　体育館　８２，０００人
プール　６７，０００人
計　１４９，０００人

年間収入見込額　３４，５７０千円

平成２９年度施設利用者数　体育館　９８，６５６人
プール　７０，９２５人
計　１６９，５８１人
（平成２８年度実績）　（１５９，７８８人）

平成２９年度収入額　３５，０４３，９４０円
（平成２８年度実績）　（３１，９０３，６７１円）

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
バドミントン（月曜日）	４月～３月	28	319	
卓球（月曜日）	４月～３月	28	604	
高齢者ニュースポーツ（火曜日）	４月～９月	10	24	
空手（火曜日）	４月～３月	30	154	
テニス（火曜日）	４月～３月	30	565	
テニス（水曜日）	４月～３月	26	410	
卓球（水曜日）	４月～３月	27	567	
ジュニアバドミントン（水曜日）	４月～３月	27	651	
ジュニア新体操（木曜日）	４月～３月	30	321	
いきいき健康（木曜日）	４月～３月	30	163	
エアロビクス（金曜日）	４月～３月	29	445	
テニス（金曜日）	４月～３月	28	223	
バドミントン（金曜日）	４月～３月	26	309	
産体フィットネス	９月～３月	20	111	
障がい者スポーツ教室	４月～３月	27	88	
ワンコインレッスン	４月～３月	20	83	

■水泳教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
幼児（月曜日）	４月～３月	35	392	
幼児（木曜日）	４月～３月	35	391	
幼児（土曜日）	４月～３月	35	574	
小学生（月曜日）	４月～３月	35	793	
小学生（火曜日）	４月～３月	35	684	
小学生（木曜日）	４月～３月	35	728	
小学生（金曜日）	４月～３月	35	787	
小学生（土曜日）	４月～３月	35	824	
小中学生（土曜日）	４月～３月	35	722	
高校生（木曜日）	４月～３月	2	2	
一般（月曜日）	４月～３月	35	437	
一般（木曜日）	４月～３月	35	319	
一般（金曜午前）	４月～３月	35	272	
一般（金曜午後）	４月～３月	35	151	
春季小学生	４月	5	125	
夏休み短期小学生①	７月	10	226	
夏休み短期小学生②	７月	10	239	
水球教室	４月～３月	42	665	
障がい者水中運動教室	４月～３月	20	95	
ワンコインレッスン	４月～３月	27	33	

■イベント

区分	イベント名	延べ日数	延べ人数	備考
文　化	花ショウブ特別展示会	2	350	６月開催
文　化	ジャパンキルトフェスティバル in すなば県	3	13,000	６月開催
文　化	花ショウブ株分育成管理講習会	1	20	７月開催

文　化	タマノカンザシ展	1	100	8 月開催
文　化	アートの世界 2017	2	500	10 月開催
スポーツ	こども運動神経育成教室	1	27	10 月開催
スポーツ	館長杯秋季バドミントン大会	1	13	12 月開催
スポーツ	ローソンカップ小学生卓球大会	1	128	12 月開催
スポーツ	新春初泳ぎ	1	31	1 月開催
スポーツ	新春室内グラウンドゴルフ大会	1	59	1 月開催
スポーツ	泳力検定会	1	21	3 月開催

■利用人数及び収入増減理由

・体育館の利用者数については 6 月に「ジャパンキルトフェスティバルｉｎすなば県」が開催され、3 日間で約 13,000 人集客、9 月に「絵本とわたしの物語展」では、5,700 人の集客があり、増となった。10 月は前年度に比べてスポーツ大会が 5 大会（延べ日数 14 日）増えたため増加した。1 月は全日本ジュニアバドミントン研修大会が 2 年目となり、参加人数が増加した。2 月は前年度、大雪のために展示会がキャンセルとなったが、今年度は開催されたため、利用者、収入ともに増加した。収入については、新規の展示会が 2 件、隔年開催の展示会が 1 件、また中国地区の大学生の競技会会場となり、照明、冷房利用等設備面でも合わせて、収入は上がった。

・プールは、利用者数、収入について、春から初夏にかけて天候が安定していたこともあり個人利用・定期利用・教室参加者が昨年に比べ伸びた。プールコース専用利用では高校水泳部のオフ期間中の練習場所として利用が多かったのと研修室を会議の場として利用される団体があり、収入増の一因となっている。

■事業実施状況

・今年の主要なイベントとして、とっとりキルトクラブ・新日本海新聞社・鳥取産業体育館主催で「ジャパンキルトフェスティバルｉｎすなば県」を開催。約 13,000 人の来場者があり、たくさんのキルト愛好者や興味をもった方で賑わった。

・１０月に「こども運動神経育成教室」を昨年に引き続き開催。神経系の運動能力を

	高め、運動神経を鍛えるコーディネーショントレーニングを中心のプログラムで実施した。 ・１２月にローソンカップ小学生卓球大会を開催し、多くの小学生が参加した。 ・障がい者水泳・スポーツ教室を引き続き実施し、障がい者の方の体力・健康づくりに寄与した。 ・文化的事業（花ショウブ特別展示会６月・花ショウブ育成管理講習会７月・タマノカンザシ展８月・アート展 10 月）を実施。 ■地域貢献等 ・鳥取市内の各小学校（河原第一小学校、散岐小学校、神戸小学校、鹿野小学校）へ出向き、教師及び児童に水泳出前指導を行い泳力向上に貢献した。 ・河原第一・遷喬・智頭・鹿野小学校の親子会、河原町子供会ジュニアリーダーキャンプ、あおば地区へ職員を派遣し、ニュースポーツ（キンボール、スカットボールなど）の出前指導を行ない、地域の方に大変喜んでいただいている。 ・八頭高ウエイトトレーニング講習会、青谷町主催の健康講座に職員を派遣。 ・若葉台小学校キャリア教育「ドリカムプロジェクト～夢に向かって進もう～」に講師として派遣。 ・中部地区にある県総合型地域スポーツクラブに昨年に引き続きバドミントンのトップアスリート職員と、アスレチックトレーナー職員を派遣した。今後も学校並びに、地域からも出張トレーニング指導の依頼があるので、期待に応えていきたい。 ・鳥取南中学校　５月（3 人）・県立岩美高校　６月（4 人）のインターンシップ受け入れを行った。 ■今後の取り組み等 ・収入確保のためにイベント開催に協力していき、様々な団体に来ていただけるように努めるとともに、展示会開催を呼び込むために声掛けを継続していく。 ・支出（特に燃料費と電気代）を抑えるよう職員全員が節減意識をこれまでよりさらに強め努力する。 ・今年度に入り、ろ過循環ポンプの修繕、小体育館冷却ポンプ用電動機修繕を行った。施設の老朽化による小修繕がかなり増えてきている。日頃の巡視・点検を徹底し、大きな修繕にならないように努める。

・２０２０年東京オリパラに向け、競技団体と連携を図り、海外からの合宿要望等にこたえられる施設に整え、トップアスリート事業の開催に取り組んでいきたい。
・利用者が安全・安心・快適に施設を利用していただくことが基本と考え、施設アンケート・教室アンケートを行う機会を増やし、利用者の声を聴き、迅速な対応ができる管理運営に努める。
・職員の資質向上のための研修会参加や資格取得を積極的に行う。
・競技団体と連携し、トップ選手のプレーを見ることの出来る大会を誘致したり、トップアスリートから指導を受けたり、触れ合うイベントを開催したい。

（３）米子市皆生市民プール

年間施設利用見込み人数	８６，０００人
年間収入見込額	２２，８６５千円

平成２９年度施設利用者数	８６，３６１人
（平成２８年度実績）	（８４，３６４人）
平成２９年度収入額	１８，９６９，９００円
（平成２８年度実績）	（１９，３８５，４３５円）

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
バドミントン教室（初級）	４期	４０	１６７	
バドミントン教室（中級）	４期	４０	３２６	
バドミントン教室（上級）	４期	４０	２８７	
Jr.バドミントン教室	４期	８０	９６５	
３Ｂ体操教室	４期	４０	１６４	
わんぱく教室	４期	３０	４６４	
トライアスロン教室	４期	１２０	１６００	

■水泳教室

教室名（クラス）	期間	延べ回数	延べ人数	備考
水泳教室（幼児 11 クラス）	３期	１１０	４，７０２	
水泳教室（小中学生 21 クラス）	３期	２１０	８，２４５	
水泳教室（成人 3 クラス）	３期	３０	７５１	
水泳教室（短期）	４月９月 １２月３月	２２	１３２	

■イベント

イベント名	時期	人数(延)
浮いて待て講習会	７月	２０名
水辺の安全教室	８月	２２名
高齢者体力測定会	９月	７名
ニュースポーツ体験会	１１月	２７名
プチ・レッスン	月・木	５００名

■利用人数及び収入増減理由

・利用人員

計画、前年度対比とも増となった。

理由としては、体育館においてのトレーニングルームの利用増が挙げられる。また、プールにおいての高齢者を対象とした無料の水中運動教室（プチ・レッスン）に多くの参加者があったことが増になった要因である。

・収入

計画、前年度対比とも減となった。

理由としては、８月下旬小プール北側側面に亀裂が発生し、改修のため約３週間営業できなかったことが挙げられる。

■事業実施状況

・水泳教室は、例年通り実施することができた。また、申込者数の増加に伴い、追加の教室を開催し、ほぼ全員の申込者が参加できるクラス編成を行い、好評を頂いた。特に幼児（２歳から３歳児対象、年少から年長）クラスは、申込者多数であった。

・米子市内の小中学校及び PTA に地域貢献活動の一環としての BLS（心肺蘇生法及

	びAED）講習会及び浮いて待て（着衣泳）講習会を水難学会及びNPO法人皆生ライフセービングクラブとの共同実施により、8校約600名に実施した。 ・鳥取県障がい者スポーツ協会との共催で、西部スポーツ教室を実施するとともに、第5回鳥取県障がい者水泳選手権大会の会場提供及び職員の役員配置、第11回全日本チャレンジド・アクアスロン皆生大会にできる限り職員を派遣し、サポート体制の強化により、障がい者の方へのスポーツ活動の支援に貢献できた。 ・福米中学校（7/6～7　3 名）の職場体験の受け入れを行った。実際にプール監視、窓口業務、環境美化活動等体験し、普段利用しているだけではわからない施設管理の一面を理解したと思う。 ・「浮いて待て講習会」を７月９日（日）に実施し、幼児から大人まで多くの参加者（２１名）に体験していただいた。 ・小学生を対象に水辺で安全に楽しく過ごすにはどうしたら良いか学習させる「水辺の安全教室」を開催した。実際に皆生温泉海水浴場に出掛け、当日は波が高かったが、皆安全に楽しく学習していた。 ・新規事業として、高齢者体力測定会を９月８日に実施し、普段の生活の参考になる体力評価を行った。同時にチェアエクササイズを体験していただいた（７名）。 ・５月から６月及び１０月、１１月にかけて、毎週月・木曜日の１０時１０分から約２０分間、プチ・レッスンとして主に水中運動を行い、多くの利用者から好評をいただいた。（総勢５６０名） ・水泳の飛び込み指導に関係して、鳥取県小中学校の教員対象にした飛込み教室に職員を指導員として派遣し（県内３か所）、多くの教職員に指導を行った。 ・米子市小学校体育主事の教員を対象に、浮いて待て講習会・頸椎損傷・熱中症などの講習会に職員を派遣した。 ・どなたでも参加できる「ニュースポーツ大会」を１１月に開催し、初めて体験するスポーツを楽しむ機会を提供できた。 ■今後の取り組み等 ・米子市のスポーツ振興、健康増進に照らした事業展開と安心安全な施設の提供ができるよう、利用者の声、社会変化のニーズや課題を積極的に探り、柔軟な発想で施設運営に反映していく。 ・各種スポーツ教室等の自主事業の評価（アンケート）・検証を行い、参加者の要望に可能な限り応えることができる運営を心掛け、安定した収入による施設運営を行え

るようにしていく。
・職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を推進する。
・今年度に入り、大きな修繕が重なり支出が増加している。施設の巡回、点検を徹底し、大きな修繕にならないように努力していく。
・利用者の声を第一に考え、常に利用者の目線に立った施設運営を全職員一丸となって取り組んでいく。

（４）鳥取県立米子産業体育館

年間施設利用見込み人数　　１４８，０００人

年間収入見込額　　３１，８１０千円

平成２９年度施設利用者数　　１３６，１４３人
（平成２８年度実績）　　（１４３，６５０人）
平成２９年度収入額　　３０，２２５，９０１円
（平成２８年度実績）　　（２９，７０１，６３２円）

■教室
・年間

区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	体操体育（月）低学年	4月～3月	40	207	
スポーツ	体操体育（月）高学年		40	223	
スポーツ	体操体育（木）年長		40	63	
スポーツ	体操体育（木）低学年		40	340	
スポーツ	体操体育（木）高学年		40	288	
スポーツ	器械体操（火・金）小学生		80	468	
スポーツ	新体操（水）年長～低学年		40	532	
スポーツ	新体操（水）高学年		40	556	
スポーツ	サッカー（月）低学年		40	422	
スポーツ	サッカー（月）高学年		40	391	
スポーツ	サッカー（水）低学年		40	493	
スポーツ	サッカー（水）高学年		40	633	
スポーツ	女子サッカー（木）		40	300	
スポーツ	レスリング（金）低学年		40	268	
スポーツ	リフレッシュヨガ（土）一般		40	161	

スポーツ	エンジョイフットサル（月）一般		39	232	
スポーツ	メタボ撲滅（火）一般		41	188	
文　　化	英語教室（火）小学5、6年生		29	120	7月より開催
年間教室　4月～3月合計			479	5,885	

・短期（１期１０回実施）

区分	教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	バドミントン	５期	50	372	週２回実施
スポーツ	バウンドテニス	５期	50	644	
スポーツ	エンジョイ卓球	５期	50	555	
スポーツ	障がいのある方の教室（ひまわり教室）	１期	5	21	年１期
短期教室　4月～3月合計			155	1,592	

■イベント

区分	イベント名	回数	人数	備考
スポーツ	館長杯バウンドテニス大会	1	50	11月開催
スポーツ	館長杯バドミントン大会	1	80	2月開催
スポーツ	新体操教室発表会	1	100	3月開催

■利用人数及び収入増減理由

・不定期開催で集客の多い親子フェスタ（約２，５００人）、米子ガス展示会（約３，０００人）の未開催、加えて年２試合開催されていたプロバスケットボールリーグが、１試合開催になった事が減員の大きな要因。

・フィットネスルームの利用について、利用者の意見を聞きながら室温調節を行うとともに、マシンについた汗を拭くタオルを充実させるなど利用環境を改善することにより利用者、利用収入ともに約２割増加した。

・スポーツ教室において、きめ細やかな対応、指導を行ったことにより、参加者の増加につながった。

■事業実施状況

・屋外環境整備マニュアルの作成とともに、環境整備実施マップを毎月作成、実施することで環境整備に努めた。

	・年間教室、短期教室について、概ね計画どおり実施。 ・小学校英語必修化に対応し、英語教室を開講した。 ・外部評価委員会を開催した。 ・福米西小学校の「町たんけん」に協力。（６月） ・福米中学校の職場体験を受け入れた。（７月） ・夏季の閑散期に県外大学等の合宿を誘致した。（８月） ・ケヤキ通り振興会主催「米子ケヤキ通り祭り」に協力。（１１月） ・館長杯バウンドテニス大会（１１月）、館長杯バドミントン大会（２月）を実施。 ・新体操教室の発表会を実施。（３月） ■今後の取り組み等 ・職員の資質向上の為に、研修会や講習会へ参加する。また、施設の管理運営上、必要な資格は取得に努める。 ・各種競技の大会、学生の合宿を積極的に受け入れ、スポーツ振興の場となるよう努める。 ・前年度ご利用いただいたイベント、展示会、大会等団体へ次回開催の要望を早期に伺うことで継続利用できるよう配慮するとともに、新規団体の利用希望日が重複する場合は日程変更等を含め、双方にご理解をいただきながら、慎重な調整を図ることで出来るだけ多くの団体にご利用していただけるよう努める。 ・近県の主なイベント企画会社等へパンフレット、イベント開催事例、空き情報を提供することで、新たな展示会・イベント開催の誘致に努める。 ・競技団体との連絡を密にし、２９年度に実施された日本女子バスケットボールリーグ公式戦（１２月）、全日本社会人ボクシング選手権大会（１２月）、バドミントンS/Jリーグ公式戦（1月）、Bリーグ公式戦（3月）など、県民の皆様がトップアスリートのプレーを体感できるような公式戦や教室を開催してもらえるよう努める。 ・昨年度に引き続き、主に子どもを対象とした年間スポーツ教室、大人を対象とした短期スポーツ教室を開催し、スポーツの普及、振興に努める。 あわせて、小学校５・６年生を対象にした「英語教室」、また、障がいのある児童を対象とした「ひまわりスポーツ教室」も実施する。 なお、実施している各教室について在籍人数を定期的に確認し、欠員の出ている教室については、近隣小学校に再募集のチラシを配布し、参加者の定員確保を図る。

・周辺の小、中学校における地域学習、ケヤキ通り振興会の活動にも協力し、さらなる地域との連携を図る。

（５）鳥取県立武道館

年間施設利用見込み人数　１１０，０００人

年間収入見込額　１２，４７４千円

平成２９年度施設利用者数　１０５，８０７人
（平成２８年度実績）　（１１２，２３６人）
平成２９年度収入額　１２，１３５，７２２円
（平成２８年度実績）　（１３，０１４，８０１円）

■スポーツ教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
柔道教室	４月～３月	８０回	１，６２７人	
剣道教室	４月～３月	８０回	１，４０４人	
弓道教室	４月～３月	８０回	１，０９０人	
空手道教室	４月～３月	８０回	１，４１７人	
なぎなた教室	４月～３月	８０回	５１６人	
銃剣道教室	４月～３月	８０回	４２５人	
ゆったり運動教室	４月～３月	４０回	２７１人	
のびのび運動教室	４月～３月	４０回	４１７人	
カンフー教室	４月～３月	４０回	５１３人	
ストレッチ・トレーニング教室	４月～３月	８０回	４９７人	
親子ふれあい運動教室	４月～３月	４０回	２１６人	

■イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	鳥取県空手道指導者養成講習会	１回	８０人	４月実施
スポーツ	鳥取県弓道指導者養成講習会	１回	３０人	６月実施
スポーツ	鳥取県小学生柔道大会	０回	０人	台風の為中止

スポーツ	鳥取県（鳥取市）地方青少年相撲錬成大会	１回	９０人	６月実施 於：鳥取城北高校
スポーツ	鳥取県（米子市）地方青少年銃剣道錬成大会	１回	１００人	７月実施
スポーツ	空手道教室級位審査会	４回	１６１人	６月、９月 12月、3月実施
スポーツ	鳥取県（鳥取市）地域社会柔道指導者研修会	１回	１０８人	１１月実施 於：鳥取市武道館
スポーツ	鳥取県（米子市）地域社会銃剣道指導者研修会	１回	１４０人	１月実施
スポーツ	鳥取県（米子市）地域社会弓道指導者研修会	１回	８０人	１１月実施
体験	第３回武道合同体験会	１回	１，９３４人	１１月実施
スポーツ	鳥取県高校生弓道大会	１回	２５０人	１２月実施
スポーツ	鳥取県小学生剣道大会	１回	６００人	１月実施
スポーツ	鳥取県立武道館鏡開き式	１回	６５０人	１月実施

■利用人数及び収入増減理由

・６月は、鳥取県小学生空手道選手権大会、極真館山陰大会、その他大会講習会が多く開催した為、参加人数及び収入が増加した。

・８月は、昨年度、全国高校総合体育大会（弓道競技）及び中国中学校柔道選手権大会と大規模的な大会があり、人数、収入ともに増加したが、今年度は中国大会以上の大会がなく参加人数及び収入が減少した。

・３月は、中国柔道選手権大会や境港松濤館合同錬成大会等が開催され人数が増加した。

人数：今年度は、中国大会以上の大会が２競技（国際親善剣道大会、中国地区柔道選手権大会）しかなく昨年度と比べ全体で人数が減少した。

収入：昨年度行われた全国高校総合体育大会（弓道競技）の利用期間が長く全館で冷房を使用した為、昨年度と比べて収入減となった。

■事業実施状況

・上記スポーツ教室、イベントを計画どおり実施した。

・米子市内の中学校３校から職場体験の受け入れを行った。

① 東山中学校　（７月３日から７月６日まで４日間）

② 弓ヶ浜中学校（７月４日から７月７日まで４日間）

	③ 福米中学校　（７月５日から７月７日まで３日間） ・（社福）養和会エポック翼と連携して、就労移行訓練としての職場実習を行った。 （４月２４日から４月２８日５日間） ・各競技団体等の依頼により、職員を外部指導や審判員として派遣した。 ■今後の取り組み等 ・各教室の参加者を増加させるため、当館ホームページやメディアへの広報はもちろん、学校や公共施設等へのチラシ配布を行う。 ・ホームページでの情報発信を充実させ、県内外からの大会・合宿の誘致を行い利用促進を図るなど、広報の環境を整えリピーターを確保できるよう努める。 ・県体育協会に加盟する武道団体から提供された情報等を生かした運営、情報発信を行い、さらなる武道の普及・振興を図る。 ・職員の資質向上のための研修等への参加、及び必要である資格は積極的に取得していく。 ・株式会社ローソンの支援を活用したイベントの開催を計画する。 ・職場体験などの積極的な受入れを行う。 ・教室の見直しを行い、新規教室を計画し、利用者の増加を図る。 ・第４回武道合同体験会を今年度も計画しており、より多く体験していただくため、体験会以外のイベントも取込みながら、武道の普及に努める。 ・植栽等の環境整備作業報告書により実施箇所を明確にして環境美化に努める。

事　業　計　画	実　施　状　況

＜収益１＞施設関連事業　70,332 千円（69,270 千円）

（１）鳥取県立倉吉体育文化会館

年間施設利用見込み人数　　１８４，０００人

年間収入見込額　　１９，１１０千円

施設関連事業　69,943,240 円

平成２９年度施設利用者数　　１５７，６６８人
（平成２８年度実績）　　（１６２，９３８人）
平成２９年度収入額　　１９，０２５，７９４円
（平成２８年度実績）　　（１９，５６１，０５５円）

■スポーツ・文化教室

教室名	期間	延べ回数	延べ人数	備考
健康づくり	4 月～3 月	30	286	スポーツ教室
テニス夜	4 月～3 月	30	557	スポーツ教室
運動不足解消教室	4 月～3 月	40	613	スポーツ教室
テニス昼	4 月～3 月	30	481	スポーツ教室
ストレッチ・ジャズ体操	4 月～3 月	35	512	スポーツ教室
ﾗｰｼﾞﾎﾞｰﾙ卓球＆ｿﾌﾄﾊﾞﾚｰ	4 月～3 月	35	1,326	スポーツ教室
トランポリン	7 月 8 月	2	16	スポーツ教室
中部スポーツ	4 月～3 月	11	159	スポーツ教室
太極拳	5 月～3 月	30	163	スポーツ教室
ベイビー親子教室	6 月～7 月	―	不参加	スポーツ教室
バドミントン昼	6 月～3 月	25	132	スポーツ教室
バドミントン夜	6 月～3 月	25	116	スポーツ教室
グラス・シルエット	4 月～3 月	19	149	文化教室
着物着付け	4 月～3 月	16	73	文化教室
パソコン	4 月～3 月	47	605	文化教室
能楽教室	4 月～3 月	41	83	文化教室
フラワーアレンジメント	4 月～3 月	12	131	文化教室
パステル和みアート	6 月、1 月	2	4	文化教室
英会話	6 月～3 月	27	257	文化教室
絵手紙	11 月～3 月	5	23	文化教室

■イベント

区分	イベント名	延べ回数	延べ人数	備考
スポーツ	エンジョイテニスカップ	3	22	7 月 10 日 12 月 11 日 3 月 27 日
スポーツ	ファミリースポーツの日 体育の日	1	30	10 月 9 日
スポーツ	くらたいカップバドミントン大会	1	2	12 月 25 日
スポーツ	体文カップラージ卓球大会	1	41	3 月 25 日
文化	夏休み文化教室	1	44	8 月 19 日
文化	体文祭	1	600	10 月 7 日～ 10 月 9 日
文化	クリスマスイベント	1	82	12 月 17 日
その他	軒下セール	2	165	6 月 10 日 12 月 17 日
その他	県民の日みんなでスポーツを！	1	241	9 月 9、10、 12 日

■利用人数及び収入増減理由

・未来中心が工事を行っている関係で、４、５月の会館利用が増加した。

・５月は体育館有料利用が増加したため収入が増加した。

・バリアフリー化工事のため、会館を閉鎖。11 月、12 月収入、利用者数が減少した。

・2 月は積雪のため、キャンセルが発生し会館の利用者数が減少した。

■事業実施状況

受付でのスピーディーでお客様を待たせない、２人体制や総合案内を設け、利用者へのホスピタリティーある接遇を行っている。

・町中のオアシスとして環境問題にも配慮した「プランター設置」「メダカ保存」「メダカの里親探し」「軒下セール」「ウオーキングコース」を実施した。

・「あなたの町や村に行きます」にて県内、市町村社協へ出張指導に出向き「介護予

	防教室」・「認知症予防教室」実施。地域貢献に協力し、利用促進に効果を発揮した。 ・施設を安全に使っていただくために応急手当普及員４人を配置し、万一に備える体制を整えた。 ・有料掲示板の継続により利用者の利便性と地域の活性化を目指している。 ・毎月の職員会議で利用促進目標を定め、利用促進や結果の反省を次に結びつけるよう努力した。 ・鳥取県と倉吉市と県山岳協会と連携し、全日本ユース選手権ボルダリング競技大会を誘致し、運営に協力した。 ・職場体験等については、例年受け入れしている河北中に加えて、西郷小学校町探検隊の受入れを行った。 ・河北中学校２年生生徒による、車椅子を使用した体験に施設を提供した。 ・バドミントン（夜）教室を開催、若い仕事勤めをしている方に好評で、人数が増えつつある。 ・高齢者、障がい者を対象とした、鳥取県障がい者スポーツ協会と共催している「中部スポーツ教室」や「太極拳」、親子で参加ができる「トランポリン教室」を実施している。また、スポーツだけでなく文化を楽しむ「夏休み文化教室」等多彩なイベントや教室を開催し利用促進に努めている。 ・県山岳協会と連携し、クライミング体験会を実施。 ・利用者の皆さんに日頃の感謝をこめて「第１０回スポーツと文化のまつり　体文祭」を定着させ文化団体と協力、当館の文化教室の作品やニュースで見る当館の一年の歩みを広く見ていただいた。 ・あいサポート企業として、あいサポートメッセンジャーに２名登録。 ・県の施策の「カーボンオフセット」に協力するため、協定業者にペットボトルのキャップを提供している。 ・ペットボトルのキャップを協定業者関係である障害福祉サービス事業所に回収を依頼している。 ・県が切り花の生産技術の向上支援をしている、シンテッポウユリを飾り利用者に周知した。 ・会館ホールに季節のタペストリーを設置したり、施設通路にプランターやロビー等に季節の花を飾り、おもてなしを充実させ、季節感を提供している。 ・目の不自由な方のために、案内図と会館の各部屋の表記に色付けし、カラーユニバ

	ーサルデザインの対応を行った。 ・障害者施設の「東伯けんこう」と連携し、体文祭で野菜、パン、クレープ等の販売実習を行った。 ・会館１階ホールに鳥取県ゆかりの作家、水木しげる氏、谷口ジロー氏、青山剛昌氏のマンガを設置し、利用者が気軽に読めるようにした。 ■今後の取り組み等 ・２人体制の受付を継続するとともに、利用者の声を反映させ、より充実した体制を整えていく。 ・有料掲示板の広報等をさらに行い、収入増を目指すとともに地域活性化に尽力する。 ・職員の資質向上のため、各種研修会への参加や各種資格の取得を促進する。 ・職員のスキルアップのための研修会を開催する。また、他団体が実施する各種研修会に積極的に参加する。 ・応急手当指導員を取得させ、より一層体制を整える。 ・利用者増を図るため、広報に力を入れる。 ・全国、国際大会等の誘致を促進するため、県や各団体と連携を密にしていく。 ・平成３０年度行われる、クライミングアジア選手権２０１８大会開催に向け、県や市、日本山岳スポーツクライミング協会、県山岳協会と連携、協力していく。 ・施設内、外の除草等やボランティア団体と連携し、施設及び周辺の美化活動を強化する。 ・鳥取県と連携し、今以上に障がい者、高齢者に優しいより良い施設環境を推進していく。 ・クライミング施設が日本オリンピック委員会拠点センターに認定されたことを、多くの県民の方に知っていただくためＰＲをしていく。 ・県や市と連携し、クライミングの聖地として、多くの県民、世界の方に知っていただくためＰＲをしていく。

（２）倉吉自転車競技場の管理運営　7,071 千円（6,309 千円）

・倉吉自転車競技場の管理運営を行う。

7,086,373 円

平成 29 年度より本会にて、直接管理。

・管理体制

場長１名（倉吉体育文化会館館長が兼務）

職員２名

・サイクリングフェスティバルの開催

春のサイクリングフェスタ

期　日　平成２９年４月３０日（日）

参加者　選手６７名（保護者４０名以上）

秋のサイクリングフェスタ

期　日　平成２９年１０月８日（日）

参加者　選手６３名（保護者４０名以上）

＜収益２＞自動販売機設置事業　　18,250 千円（17,805 千円）

本会が管理する公の施設に、利用者の利便性の向上を図るため自動販売機を設置し、自動販売機手数料による収益事業を実施する。

（単位：千円）

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	10,000 (9,705)	2,500 (2,500)	1,250 (1,100)	1,500 (1,500)	3,000 (3,000)	18,250 (17,805)
支出	3,653 (3,628)	966 (966)	588 (580)	610 (650)	1,284 (1,284)	7,101 (7,108)
収益	6,348 (6,077)	1,534 (1,534)	662 (520)	890 (850)	1,716 (1,716)	11,149 (10,697)

（　　）内は前年度数字

自動販売機設置事業　19,365,690　円

・自動販売機設置状況

（単位：千円）

	布勢総合運動公園	鳥取産業体育館鳥取屋内プール	皆生市民プール	米子産業体育館	武道館	合計
収入	10,523 (10,320)	2,672 (2,652)	1,052 (1,089)	2,170 (2,367)	2,948 (3,326)	19,365 (19,754)
支出	3,684 (3,634)	968 (966)	569 (571)	651 (665)	1,269 (1,296)	7,141 (7,132)
収益	6,839 (6,686)	1,704 (1,686)	483 (518)	1,519 (1,701)	1,679 (2,029)	12,224 (12,620)

（　　）内は前年度数字

公益財団法人　鳥取県体育協会

貸　借　対　照　表

平成　30 年　3 月　31 日　現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金	1,368,020	1,375,008	△6,988
預金	197,413,702	191,223,167	6,190,535
未収金	6,547,864	5,020,994	1,526,870
前払金	213,799	216,255	△2,456
前払費用	141,632	1,632,730	△1,491,098
仮払金	77,728	1,000,436	△922,708
流動資産合計	205,762,745	200,468,590	5,294,155
2　固定資産			
(1) 基本財産			
指定基本財産定期預金	500,000	500,000	
一般基本財産定期預金	687,988	687,988	
基本財産合計	1,187,988	1,187,988	0
(2) 特定資産			
運営基盤強化基金	58,630,000	58,630,000	
わかとり国体開催記念基金	503,524,554	503,268,484	256,070
施設基金造成積立資産	6,002,128	3,761,666	2,240,462
県民スポーツ振興事業積立	11,384,625	10,033,211	1,351,414
指定特定資産建物	175,791,772	186,435,092	△10,643,320
指定特定資産構築物	166,254,526	181,092,187	△14,837,661
指特資・車両運搬具	1	190,000	△189,999
指特資・什器備品	338,582	623,270	△284,688
電話加入権	152,880	152,880	
特定資産合計	922,079,068	944,186,790	△22,107,722
(3) その他固定資産			
構築物		1,002,625	△1,002,625
車両運搬具	25,001	175,001	△150,000
什器備品	667,291	2,041,410	△1,374,119
無形固定資産	165,888	603,936	△438,048
その他固定資産合計	858,180	3,822,972	△2,964,792
固定資産合計	924,125,236	949,197,750	△25,072,514
資産合計	1,129,887,981	1,149,666,340	△19,778,359
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払金	67,184,126	69,484,992	△2,300,866
前受金	2,087,240	1,408,940	678,300
預り金	4,646,392	4,747,382	△100,990
仮受金	40,078,657	43,011,051	△2,932,394
未払法人税等	201,000	201,000	

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
未払消費税等	6,630,891	5,829,638	801,253
流動負債合計	120,828,306	124,683,003	△3,854,697
2 固定負債			
リース債務	924,840	1,849,680	△924,840
固定負債合計	924,840	1,849,680	△924,840
負債合計	121,753,146	126,532,683	△4,779,537
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	922,539,068	944,606,790	△22,067,722
（内基本財産への充当額）	(500,000)	(500,000)	(0)
（内特定資産への充当額）	(922,039,068)	(944,106,790)	(△22,067,722)
2 一般正味財産	85,595,767	78,526,867	7,068,900
（内基本財産への充当額）	(687,988)	(687,988)	(0)
（内特定資産への充当額）	(40,000)	(80,000)	(△40,000)
正味財産合計	1,008,134,835	1,023,133,657	△14,998,822
負債及び正味財産合計	1,129,887,981	1,149,666,340	△19,778,359

公益財団法人　鳥取県体育協会

貸借対照表内訳表
平成30年3月31日現在

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	総合計
Ⅰ資　産　の　部					
1流　動　資　産					
現　　金	1,251,666	89,780	26,574		1,368,020
預　　金	36,919,491	22,566,171	137,928,040		197,413,702
未　収　金	4,679,748	1,819,716	48,400		6,547,864
前　払　金	132,716		81,083		213,799
前　払　費　用	141,632				141,632
仮　払　金	77,728				77,728
施設会計勘定	94,385,196	21,354,136		△ 115,739,332	
他会計振替繰入勘定	2,283,199			△ 2,283,199	
toto事業勘定	1,422,000			△ 1,422,000	
流動資産　合計	141,293,376	45,829,803	138,084,097	△ 119,444,531	205,762,745
2固　定　資　産					
(1)基　本　財　産					
指定基本財産定期預金			500,000		500,000
一般基本財産定期預金			687,988		687,988
基本財産　合計	0	0	1,187,988	0	1,187,988
(2)特　定　資　産					
運営基盤強化基金			58,630,000		58,630,000
わかとり国体開催記念基金	503,524,554				503,524,554
施設基金造成積立資産	6,002,128				6,002,128
県民スポーツ振興事業積立	11,384,625				11,384,625
指定特定資産建物		175,791,772			175,791,772
指定特定資産構築物	72,011,845	94,242,681			166,254,526
指特資・車両運搬具	1				1
指特資・什器備品	1	338,580	1		338,582
電話加入権	152,880				152,880
特定資産　合計	593,076,034	270,373,033	58,630,001	0	922,079,068
(3)その他固定資産					
車　両　運搬具	25,001				25,001
什　器　備　品	620,309	46,981	1		667,291
無形固定資産	165,888				165,888
その他固定資産合計	811,198	46,981	1	0	858,180
固定資産　合計	593,887,232	270,420,014	59,817,990	0	924,125,236
資　産　合　計	735,180,608	316,249,817	197,902,087	△ 119,444,531	1,129,887,981
Ⅱ負　債　の　部					
1流　動　負　債					
未　払　金	59,787,067	5,475,746	1,921,313		67,184,126
前　受　金	2,077,180	10,060			2,087,240
預　り　金	3,534,239	472,746	639,407		4,646,392
一般会計勘定			115,739,332	△ 115,739,332	
競技力向上対策勘定	1,422,000			△ 1,422,000	
他会計振替繰出勘定		2,283,199		△ 2,283,199	
仮　受　金	29,737,341		10,341,316		40,078,657
未払　法人税等	60,000	60,000	81,000		201,000
未払　消費税等	5,084,410	1,546,481			6,630,891
流動負債　合計	101,702,237	9,848,232	128,722,368	△ 119,444,531	120,828,306
2固　定　負　債					
リース債務	660,600	132,120	132,120		924,840
固定負債　合計	660,600	132,120	132,120	0	924,840
負　債　合　計	102,362,837	9,980,352	128,854,488	△ 119,444,531	121,753,146
Ⅲ正味　財産の部					
1指定　正味財産					
指定正味財産合計	593,036,034	270,373,033	59,130,001	0	922,539,068
（内基本財産への充当額）	0	0	500,000	0	500,000
（内特定資産への充当額）	593,036,034	270,373,033	58,630,001	0	922,039,068
2一般　正味財産	39,781,737	35,896,432	9,917,598	0	85,595,767
（内基本財産への充当額）	0	0	687,988	0	687,988
（内特定資産への充当額）	40,000	0	0	0	40,000
正味財産　合計	632,817,771	306,269,465	69,047,599	0	1,008,134,835
負債及び正味財産合計	735,180,608	316,249,817	197,902,087	△ 119,444,531	1,129,887,981

公益財団法人　鳥取県体育協会

正味財産増減計算書

平成　29 年　4 月　1 日から　平成　30 年　3 月　31 日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1　経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(296)	(296)	(0)
基本財産受取利息	296	296	
② 特定資産運用益	(6,801,371)	(7,126,243)	(△324,872)
特定資産受取利息	23,371	243	23,128
特定資産運用益	6,778,000	7,126,000	△348,000
③ 受取会費	(4,447,000)	(4,454,000)	(△7,000)
受取会費	4,447,000	4,454,000	△7,000
④ 事業収益	(175,375,315)	(166,037,067)	(9,338,248)
施設使用料収益	126,483,415	118,203,157	8,280,258
教室参加料収益	43,211,940	42,698,860	513,080
イベント収益	5,679,960	5,135,050	544,910
⑤ 受取補助金等	(1,001,471,580)	(984,919,415)	(16,552,165)
受取地方公共団体補助金	125,131,735	126,315,859	△1,184,124
受取民間補助金	1,652,500		1,652,500
その他委託料	6,228,786	5,968,664	260,122
市委託料	45,413,000	45,788,000	△375,000
県委託料	792,038,526	772,274,411	19,764,115
受取民間助成金	247,000		247,000
受取補助金等振替額	30,760,033	34,572,481	△3,812,448
⑥ 受取負担金	(0)	(4,490,950)	(△4,490,950)
受取負担金		4,490,950	△4,490,950
⑦ 受取寄付金	(0)	(621,115)	(△621,115)
受取寄付金		621,115	△621,115
⑧ 雑収益	(24,062,844)	(24,774,914)	(△712,070)
雑収益	2,236,037	2,632,742	△396,705
自販機手数料	21,826,807	22,142,172	△315,365
経常収益計	1,212,158,406	1,192,424,000	19,734,406
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業経費	(1,100,762,616)	(1,076,176,100)	(24,586,516)
給料手当	181,619,653	172,003,682	9,615,971
賃金	16,343,744	13,577,300	2,766,444
福利厚生費	47,758,115	46,499,501	1,258,614
役員報酬	1,328,488	1,562,945	△234,457
職員手当	78,684,638	78,662,777	21,861
旅費交通費	75,820,246	81,899,652	△6,079,406
通信運搬費	2,924,727	2,841,631	83,096

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
減価償却費	27,959,092	27,943,446	15,646
消耗品費	13,998,298	17,927,499	△3,929,201
修繕費	18,851,987	15,979,182	2,872,805
印刷製本費	5,601,386	5,656,064	△54,678
燃料費	22,951,011	20,337,754	2,613,257
光熱水料費	115,154,907	109,526,913	5,627,994
賃借料	6,371,967	5,160,315	1,211,652
保険料	4,003,007	3,641,600	361,407
租税公課	23,828,015	22,840,360	987,655
報償費	11,100,336	9,608,467	1,491,869
食糧費	2,360,813	853,308	1,507,505
手数料	9,259,750	7,422,290	1,837,460
交際費	6,000		6,000
委託料	213,102,198	216,135,555	△3,033,357
負担金補助	221,322,002	213,782,477	7,539,525
広告費	222,480	1,736,902	△1,514,422
備品購入費	189,756	576,480	△386,724
事業費計	1,100,762,616	1,076,176,100	24,586,516
② 管理費			
役員報酬	6,181,950	5,961,782	220,168
給料手当	48,397,470	50,659,660	△2,262,190
福利厚生費	14,691,861	15,057,444	△365,583
賃金	275,356	699,830	△424,474
職員手当	22,982,227	22,113,081	869,146
旅費交通費	1,537,147	1,509,540	27,607
通信運搬費	936,885	613,651	323,234
減価償却費	199,583	199,584	△1
消耗品費	1,046,792	641,328	405,464
修繕費	321,529	305,850	15,679
印刷製本費	699,975	604,266	95,709
燃料費	93,602	115,035	△21,433
光熱水料費	474,454	452,046	22,408
賃借料	2,833,852	2,420,331	413,521
保険料	172,580	73,900	98,680
租税公課	864,677	286,666	578,011
報償費	32,900	24,000	8,900
食糧費	87,390	115,148	△27,758
手数料	616,481	789,365	△172,884
交際費	121,100	154,078	△32,978
負担金補助	755,778	714,978	40,800

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
管理費計	103,323,589	103,511,563	△187,974
経常費用計	1,204,086,205	1,179,687,663	24,398,542
評価損益等調整前当期経常増減額	8,072,201	12,736,337	△4,664,136
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	8,072,201	12,736,337	△4,664,136
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 他経常外収益	(0)	(18,931)	(△18,931)
受取補助金等振替額		12,304	△12,304
過年度修正益		6,627	△6,627
経常外収益計	0	18,931	△18,931
(2) 経常外費用			
① 固定資産廃棄損	(1,002,625)	(12,304)	(990,321)
構築物廃棄損	1,002,625		1,002,625
器具備品廃棄損		12,304	△12,304
② 他経常外費用	(676)	(6,627)	(△5,951)
過年度修正損	676	6,627	△5,951
経常外費用計	1,003,301	18,931	984,370
当期経常外増減額	△1,003,301	0	△1,003,301
税引前当期一般正味財産増減額	7,068,900	12,736,337	△5,667,437
当期一般正味財産増減額	7,068,900	12,736,337	△5,667,437
一般正味財産期首残高	78,526,867	65,790,530	12,736,337
一般正味財産期末残高	85,595,767	78,526,867	7,068,900
II 指定正味財産増減の部			
① 受取補助金等	(8,396,241)	(56,565,232)	(△48,168,991)
受取地方公共団体補助金	6,250,241	3,723,556	2,526,685
受取民間補助金	2,146,000	2,113,000	33,000
受取民間助成金		50,728,676	△50,728,676
② 特定資産運用益	(296,070)	(296,070)	(0)
特定資産受取利息	296,070	296,070	
③ 一般正味財産への振替額	(△30,760,033)	(△34,584,785)	(3,824,752)
一般正味財産への振替額	△30,760,033	△34,584,785	3,824,752
当期指定正味財産増減額	△22,067,722	22,276,517	△44,344,239
指定正味財産期首残高	944,606,790	922,330,273	22,276,517
指定正味財産期末残高	922,539,068	944,606,790	△22,067,722
III 正味財産期末残高	1,008,134,835	1,023,133,657	△14,998,822

公益財団法人　鳥取県体育協会

正味財産増減計算書内訳表

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	総合計
		収1	収2	小計			
Ⅰ一般正味財産増減の部							
1経常　増減の部							
(1)経　常　収　益							
①基本財産運用益	0	0	0	0	296	0	296
基本財産受取利息					296		296
②特定資産運用益	6,206,214	0	0	0	595,157	0	6,801,371
特定資産受取利息	23,214				157		23,371
特定資産運用益	6,183,000				595,000		6,778,000
③受　取　会　費	0	0	0	0	4,447,000	0	4,447,000
受　取　会　費					4,447,000		4,447,000
④事　業　収　益	158,985,315	16,390,000	0	16,390,000	0	0	175,375,315
施設使用料収益	111,285,115	15,198,300		15,198,300			126,483,415
教室参加料収益	42,245,940	966,000		966,000			43,211,940
イベント収益	5,454,260	225,700		225,700			5,679,960
⑤受取　補助金等	827,409,290	72,265,606	0	72,265,606	101,796,684	0	1,001,471,580
受取地方公共団体補助金	16,460,051	6,875,000		6,875,000	101,796,684		125,131,735
受取民間補助金	1,652,500						1,652,500
その他　委託料	6,228,786						6,228,786
市　委　託　料	45,413,000						45,413,000
県　委　託　料	746,982,302	45,056,224		45,056,224			792,038,526
受取民間助成金	247,000						247,000
受取補助金等振替額	10,425,651	20,334,382		20,334,382			30,760,033
⑥雑　　収　　益	1,591,587	2,847,167	19,365,690	22,212,857	258,400	0	24,062,844
雑　　収　　益	1,591,587	386,050		386,050	258,400		2,236,037
自販機手数料		2,461,117	19,365,690	21,826,807			21,826,807
経　常　収益計	994,192,406	91,502,773	19,365,690	110,868,463	107,097,537	0	1,212,158,406
(2)経　常　費　用							
①事　　業　　費							
事　業　経　費	1,003,582,416	90,037,809	7,142,391	97,180,200	0	0	1,100,762,616
給　料　手　当	162,130,985	19,488,668		19,488,668			181,619,653
賃　　金	12,674,194	3,669,550		3,669,550			16,343,744
福　利　厚生費	42,305,326	5,452,789		5,452,789			47,758,115
役　員　報　酬	1,328,488						1,328,488
職　員　手　当	69,616,258	9,068,380		9,068,380			78,684,638
旅　費　交通費	75,442,722	377,524		377,524			75,820,246
通　信　運搬費	2,629,841	294,886		294,886			2,924,727
減　価　償却費	7,419,187	20,539,905		20,539,905			27,959,092
消　耗　品　費	12,406,922	1,591,376		1,591,376			13,998,298
修　繕　費	17,442,276	1,409,711		1,409,711			18,851,987
印　刷　製本費	4,839,215	762,171		762,171			5,601,386
燃　料　費	22,085,157	865,854		865,854			22,951,011
光　熱　水料費	95,485,202	13,508,305	6,161,400	19,669,705			115,154,907
賃　借　料	5,993,761	378,206		378,206			6,371,967
保　険　料	3,464,137	538,870		538,870			4,003,007
租　税　公　課	20,202,892	2,647,372	977,751	3,625,123			23,828,015
報　償　費	10,799,103	301,233		301,233			11,100,336
食　糧　費	2,212,099	148,714		148,714			2,360,813
手　数　料	8,040,550	1,215,960	3,240	1,219,200			9,259,750
交　際　費	6,000						6,000
委　託　料	205,580,478	7,521,720		7,521,720			213,102,198
負担金　補　助	221,287,867	34,135		34,135			221,322,002
広　告　費		222,480		222,480			222,480
備　品　購入費	189,756						189,756
事　業　費　計	1,003,582,416	90,037,809	7,142,391	97,180,200	0	0	1,100,762,616
②管　理　費							
役　員　報　酬					6,181,950		6,181,950
給　料　手　当					48,397,470		48,397,470
福　利　厚生費					14,691,861		14,691,861
賃　　金					275,356		275,356
職　員　手　当					22,982,227		22,982,227
旅　費　交通費					1,537,147		1,537,147
通　信　運搬費					936,885		936,885
減　価　償却費					199,583		199,583
消　耗　品　費					1,046,792		1,046,792
修　繕　費					321,529		321,529
印　刷　製本費					699,975		699,975
燃　料　費					93,602		93,602
光　熱　水料費					474,454		474,454
賃　借　料					2,833,852		2,833,852
保　険　料					172,580		172,580
租　税　公　課					864,677		864,677
報　償　費					32,900		32,900
食　糧　費					87,390		87,390
手　数　料					616,481		616,481
交　際　費					121,100		121,100
負担金補助					755,778		755,778
管　理　費　計	0	0	0	0	103,323,589	0	103,323,589
経　常　費用計	1,003,582,416	90,037,809	7,142,391	97,180,200	103,323,589	0	1,204,086,205
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,390,010	1,464,964	12,223,299	13,688,263	3,773,948	0	8,072,201
評価損益等　計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,390,010	1,464,964	12,223,299	13,688,263	3,773,948	0	8,072,201
2経常外増減の部							
(1)経常外　収　益							
経常外　収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2)経常外　費　用							
①固定資産廃棄損	1,002,625	0	0	0	0	0	1,002,625
構築物廃棄損	1,002,625						1,002,625
②他　経常外費用	0	0	0	0	676	0	676
過年度修正損					676		676
経常外　費用計	1,002,625	0	0	0	676	0	1,003,301
当期経常外増減額	△ 1,002,625	0	0	0	△ 676	0	△ 1,003,301
他会計　振替額	28,287,019	△ 274,302	△ 27,173,897	△ 27,448,199	△ 838,820	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	17,894,384	1,190,662	△ 14,950,598	△ 13,759,936	2,934,452	0	7,068,900
当期一般正味財産増減額	17,894,384	1,190,662	△ 14,950,598	△ 13,759,936	2,934,452	0	7,068,900
一般正味財産期首残高	21,887,353	19,910,463	29,745,905	49,656,368	6,983,146	0	78,526,867
一般正味財産期末残高	39,781,737	21,101,125	14,795,307	35,896,432	9,917,598	0	85,595,767
Ⅱ指定正味財産増減の部							
①受取　補助金等	8,396,241	0	0	0	0	0	8,396,241
受取地方公共団体補助金	6,250,241						6,250,241
受取民間補助金	2,146,000						2,146,000
②特定資産運用益	296,070	0	0	0	0	0	296,070
特定資産受取利息	296,070						296,070
③一般正味財産への振替額	△ 10,425,651	△ 20,334,382	0	△ 20,334,382	0	0	△ 30,760,033
一般正味財産への振替額	△ 10,425,651	△ 20,334,382	0	△ 20,334,382	0	0	△ 30,760,033
当期指定正味財産増減額	△ 1,733,340	△ 20,334,382	0	△ 20,334,382	0	0	△ 22,067,722
指定正味財産期首残高	594,769,374	290,707,415	0	290,707,415	59,130,001	0	944,606,790
指定正味財産期末残高	593,036,034	270,373,033	0	270,373,033	59,130,001	0	922,539,068
Ⅲ正味財産期末残高	632,817,771	291,474,158	14,795,307	306,269,465	69,047,599	0	1,008,134,835

監　査　報　告　書

公益財団法人　鳥取県体育協会
　会　長　　油　野　利　博　　様

平成３０年　５月２５日

公益財団法人　鳥取県体育協会

監　　事　西村照子

監　　事　鳥羽聰之介

私たち監事は、平成２９年　４月　１日から平成３０年　３月３１日までの事業年度の理事の業務の執行状況及び財産の状況を監査いたしました。その結果について次のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を監査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

２　監査意見

（１）事業報告書等の監査結果

一　事業報告書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関しては、不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

（２）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を適正に示しているものと認めます。

財　産　目　録

平成30年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等		金額
（流動資産）					
	現金	手元保管	運転資金として		1,368,020
	預金	普通預金			
		山陰合同銀行鳥取営業部	運転資金として		138,235,252
		山陰合同銀行鳥取県庁支店	運転資金として		146,100
		山陰合同銀行福生出張所	運転資金として		2,248,546
		鳥取銀行本店営業部	運転資金として		145,321
		鳥取銀行湖山支店	運転資金として		14,351,464
		鳥取銀行鳥取駅南支店	運転資金として		11,967,498
		鳥取銀行倉吉中央支店	運転資金として		6,200,849
		鳥取銀行米子営業部	運転資金として		20,352,192
		鳥取銀行三柳支店	運転資金として		3,766,480
	未収金		公益事業	競技力向上対策事業の未収金	2,257,513
				toto補助事業の未収金	210,433
				布勢総合運動公園管理事業の未収金	1,947,062
				鳥取産業体育館管理事業の未収金	30,000
				米子産業体育館管理事業の未収金	129,100
				鳥取県立武道館管理事業の未収金	105,640
			収益事業	倉吉体育文化会館管理事業の未収金	229,335
				自動販売機設置事業の未収金	1,590,381
			法人運営事業	法人運営事業の未収金	48,400
	前払金	職員分	公益目的事業及び法人運営事業に従事する職員に対する保険料		213,799
	前払費用	あいおいニッセイ同和損保及び講師	布勢運動公園管理事業におけるイベント保険料及び講師旅費		141,632
	仮払金		布勢運動公園管理事業の仮払金		77,328
			鳥取産業体育館管理事業の仮払金		400
流動資産合計					205,762,745
（固定資産）					
基本財産	定期預金	山陰合同銀行鳥取営業部	運用益を法人運営事業の財源に充当		1,187,988
特定資産	運営基盤強化基金	定期預金			
		山陰合同銀行鳥取営業部	運用益を法人運営事業の財源に充当		630,000
		投資有価証券			
		第321回利付国債	運用益を法人運営事業の財源に充当		8,000,000
		島根県債平成23年度第2回公募公債	運用益を法人運営事業の財源に充当		50,000,000
	わかとり国体開催記念基金	普通預金			
		山陰合同銀行鳥取県庁支店	公益目的事業の財源に充当		2,221,024
		鳥取銀行本店営業部	公益目的事業の財源に充当		295,920
		定期預金			
		山陰合同銀行鳥取営業部	運用益を公益事業の財源として充当		300,000
		大和ﾈｸｽﾄ銀行エビス支店	運用益を公益事業の財源として充当		20,000,000
		投資有価証券			
		第305回利付国債	運用益を公益事業の財源として充当		136,901,360
		第61回利付国債	運用益を公益事業の財源として充当		103,766,250
		第321回利付国債	運用益を公益事業の財源として充当		80,000,000
		兵庫県債平成21年度第1回公募公債	運用益を公益事業の財源として充当		160,040,000
	施設基金造成積立資産	普通預金			
		山陰合同銀行鳥取営業部	公益目的事業の財源に充当		6,002,128
	県民スポーツ振興事業積立資産	普通預金			
		山陰合同銀行鳥取営業部	公益目的事業の財源に充当		3,479,000
		鳥取銀行本店営業部	公益目的事業の財源に充当		7,856,625
		ゆうちょ銀行五八二	公益目的事業の財源に充当		49,000
	指定特定資産建物	管理棟　463.68㎡			
		鳥取県倉吉市桜字後口山68-23	収益事業目的に使用		171,159,962
		倉庫棟　81.98㎡			
		鳥取県倉吉市桜字後口山68-23	収益事業目的に使用		4,631,810
	指定特定資産構築物	12,361㎡			
		鳥取県倉吉市桜字後口山68-23	収益事業目的に使用		94,242,681
		布勢電光掲示板			
		鳥取県鳥取市布勢146-1	公益目的事業に使用		72,011,845
	指定特定資産車輌運搬具		公益目的事業に使用		1
	指定特定什器備品		公益目的事業・収益目的事業に使用		338,582
	電話加入権		公益目的事業に使用		152,880
その他固定資産	車両運搬具		公益目的事業に使用		25,001
	什器備品		公益目的事業・収益目的事業・法人運営事業に使用		667,291
	無形固定資産		公益目的事業に使用		165,888
固定資産合計					924,125,236
資産合計					1,129,887,981

（流動負債）					
	未払金		公益事業	競技力向上対策事業の未払金	9,210,953
				競技力向上担当人件費の未払金	225,054
				国体県予選会事業の未払金	5,592
				国体等派遣選手指導費の未払金	18,745
				国体中国ブロック大会派遣事業の未払金	5,592
				国体派遣事業の未払金	328,152
				わかとり国体開催記念スポーツ振興基金事業の未払金	29,000
				賛助会事業の未払金	120,000
				指導者確保事業の未払金	138,062
				トップアスリート合宿誘致プロジェクト事業の未払金	53,160
				体協表彰事業の未払金	35,618
				体育協会史編さん事業の未払金	1,542
				スポーツ安全保険業務受託事業の未払金	43,576
				日韓交流事業の未払金	886
				鳥取県スポーツ情報サイト運用・保守料等事業の未払金	317,520
				公認スポーツ指導者等養成講習会事業の未払金	10
				広域スポーツｾﾝﾀｰ人件費事業の未払金	79,621
				布勢総合運動公園管理事業の未払金	36,195,112
				鳥取産業体育館管理事業の未払金	3,844,281
				米子産業体育館管理事業の未払金	2,215,990
				米子市皆生市民プール管理事業の未払金	1,728,611
				鳥取県立武道館管理事業の未払金	5,189,990
			収益事業	倉吉体育文化会館管理事業の未払金	3,207,778
				倉吉自転車競技場管理事業の未払金	2,267,320
				自動販売機設置事業の未払金	648
			法人運営事業	法人運営事業の未払金	1,921,313
	前受金	教室参加者	翌年度教室参加料		1,998,980
		体育施設利用者	翌年度施設利用料		88,260
	預り金	職員及び講師	公益事業・収益事業・法人運営事業に従事する職員及び講師の所得税等		4,564,392
		スポーツ安全協会	スポーツ安全保険料		82,000
	仮受金	鳥取県	公益目的事業の委託料・補助金の返納分		40,078,657
	未払法人税等		公益事業・収益事業・法人運営事業の未払法人税		201,000
	未払消費税等		公益事業・収益事業の未払消費税		6,630,891
流動負債合計					120,828,306
（固定負債）					
	リース債務		公益目的事業・収益目的事業・法人運営事業に使用		924,840
固定負債合計					924,840
負債合計					121,753,146
正味財産					1,008,134,835

財務諸表に対する注記

1.重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法(定額法)

その他の有価証券

時価のあるもの・・・移動平均法に基づく原価法

時価のないもの・・・移動平均法に基づく原価法

(2)固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定額法

無形固定資産・・・定額法

(3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2.会計基準の変更

なし

3.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。 (単位:円)

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
指定基本財産定期預金	500,000	0	0	500,000
一般基本財産定期預金	687,988	0	0	687,988
小　計	1,187,988	0	0	1,187,988
特定資産				
運営基盤強化基金	58,630,000	0	0	58,630,000
わかとり国体開催記念基金	503,268,484	296,070	40,000	503,524,554
施設基金造成積立資産	3,761,666	6,250,241	4,009,779	6,002,128
県民スポーツ振興事業積立	10,033,211	3,100,216	1,748,802	11,384,625
建　物	186,435,092	0	10,643,320	175,791,772
構築物	181,092,187		14,837,661	166,254,526
車輌運搬具	190,000	0	189,999	1
什器備品	623,270	0	284,688	338,582
電話加入権	152,880	0	0	152,880
小　計	944,186,790	9,646,527	31,754,249	922,079,068
合　計	945,374,778	9,646,527	31,754,249	923,267,056

4.基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。　（単位：円）

科　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
指定基本財産定期預金	500,000	(500,000)		
一般基本財産定期預金	687,988		(687,988)	
小　計	1,187,988	(500,000)	(687,988)	0
特定資産				
運営基盤強化基金	58,630,000	(58,630,000)		
わかとり国体開催記念基金	503,524,554	(503,484,554)	(40,000)	
施設基金造成積立資産	6,002,128	(6,002,128)		
県民スポーツ振興事業積立	11,384,625	(11,384,625)		
建　物	175,791,772	(175,791,772)		
構築物	166,254,526	(166,254,526)		
車輌運搬具	1	(1)		
什器備品	338,582	(338,582)		
電話加入権	152,880	(152,880)		
小　計	922,079,068	(922,039,068)	(40,000)	0
合　計	923,267,056	(922,539,068)	(727,988)	0

5.担保に供している資産

なし

6.固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。　（単位：円）

科　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	197,965,349	22,173,577	175,791,772
構　築　物	384,236,921	217,982,395	166,254,526
車　両　運搬具	1,621,514	1,596,512	25,002
什　器　備　品	22,499,864	21,493,991	1,005,873
無形固定資産	2,301,750	2,135,862	165,888
合　計	608,625,398	265,382,337	343,243,061

7.保証債務等の偶発債務

なし

8.満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりです。　（単位：円）

科目	購入時の価格	現在の価格	評価損益
兵庫県平成21年度第1回公募公債	160,400,000	160,040,000	△ 360,000
島根県平成23年度第2回公募公債	50,000,000	50,000,000	0
利付国庫債券第61回	102,039,000	103,766,250	1,727,250
利付国庫債券第305回	136,506,800	136,901,360	394,560
利付国庫債券第321回	88,000,000	88,000,000	0
合　計	536,945,800	538,707,610	1,761,810

9.補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
鳥取県体育協会運営費補助金	鳥取県	0	101,796,684	101,796,684	0	一般正味財産
競技力向上のための指導者の確保事業補助金	鳥取県	0	11,332,933	11,332,933	0	一般正味財産
JOC認定競技別強化ｾﾝﾀｰ支援補助金	鳥取県	0	4,916,685	4,916,685	0	一般正味財産
ジュニア期一貫指導体制推進事業補助金	鳥取県	0	210,433	210,433	0	一般正味財産
倉吉自転車競技場管理運営費補助金	鳥取県	0	6,875,000	6,875,000	0	一般正味財産
スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会におけるスポーツ活動ｻﾎﾟｰﾄ情報提供ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ実施に対する育成奨励費	日本体育協会	0	40,000	40,000	0	一般正味財産
全国スポーツ少年大会参加者旅費補助	日本体育協会	0	217,500	217,500	0	一般正味財産
スポーツ少年団ブロック大会助成金	日本体育協会	0	500,000	500,000	0	一般正味財産
スポーツ少年団組織整備強化費助成	日本体育協会	0	895,000	895,000	0	一般正味財産
スポーツ指導者育成事業交付金	日本体育協会	0	206,000	206,000	0	一般正味財産
公認指導者養成講習会共通科目及びスポーツリーダー養成講座指導者育成事業交付金	日本体育協会	0	2,000	2,000	0	一般正味財産
公認指導員・上級指導員委託講習会還元金	日本体育協会	0	39,000	39,000	0	一般正味財産
鳥取県立布勢総合運動公園基金造成事業補助金	鳥取県	0	6,250,241	6,250,241	0	指定正味財産
合計			133,281,476	133,281,476		

１０.指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

（単位：円）

内訳	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	25,955,668
目的達成による指定解除額	4,804,365
合　計	30,760,033

１１.関連当事者との取引の内容

なし

１２.重要な後発事象

なし

１３.その他

なし